

市議会だより

はまた

全市統一で行われた 消防出初め式

Vol.40

平成28年(2016年)2月1日発行



12月定例会 主な記事

- 平成27年11月臨時会 新正副議長決まる…………… 2
- 20人の議員が論戦（個人一般質問）…………… 8
- 小学生が本会議を見学に来ました……………16

平成27年11月臨時会

新正副議長決まる

平成27年11月浜田市議会臨時会が11月9日に招集され、11月10日までの2日間の会期で開かれました。

提出された議案は 議会提出議案1件、議会提出案件12件、市長提出議案3件、市長報告事項2件、請願1件でした。



今議会の概要は、会派の構成に変更が生じたことに伴い、議会運営委員会委員が、10名から11名となり、浜田市議会委員会条例の一部改正案が議会運営委員会から提出され、本会議において全会一致で可決しました。

また、正副議長の辞職に伴い、選挙が行われ、西田清久議員が新議長に、平石誠議員が新副議長に当選しました。

さらに、各常任委員会委員の任期満了に伴い、新たに所属委員の選任も議決しました。

11月臨時会 議案などの採決結果

| 市長提出議案 | 採決結果 | 採決状況 |
|-------------------|------|------|
| 浜田市教育委員会委員の任命について | 同意 | 全会一致 |
| 浜田市公平委員会委員の選任について | 同意 | 全会一致 |
| 浜田市監査委員の選任について | 同意 | 賛成多数 |

| 議会提出議案 | 採決結果 | 採決状況 |
|--------------------------|------|------|
| 浜田市議会委員会条例の一部を改正する条例について | 原案可決 | 全会一致 |

| 議会提出案件 | 採決結果 | 採決状況 |
|-------------------------|------|-------|
| 議長の辞職 | 許可 | 賛成多数 |
| 副議長の辞職 | 許可 | 賛成多数 |
| 議長の常任委員会の辞職 | 許可 | 全会一致 |
| 議長の選挙 | 当選 | 得票数16 |
| 副議長の選挙 | 当選 | 得票数17 |
| 浜田地区広域行政組合議会議員の選挙 | 当選 | 全会一致 |
| 浜田市江津市旧有福村有財産共同管理組合員の選挙 | 当選 | 全会一致 |
| 議会運営委員会委員の選任 | 選任 | 全会一致 |
| 常任委員会委員の選任 | 選任 | 全会一致 |
| 特別委員会委員の選任 | 選任 | 全会一致 |
| 浜田市農業委員会委員の推薦 | 推薦 | 全会一致 |
| 閉会中の継続調査等 | 決定 | 全会一致 |

| 請願 | 採決結果 | 採決状況 |
|------------------------------------|------|------|
| 後期高齢者医療制度の保険料軽減特例の継続を求める意見書の提出について | 不採択 | 賛成少数 |

西田 清久 議長



昨年11月の臨時会において議長に就任いたしました。合併後10年が経過し、市議会議員24名は、いろいろな政策や考え方の違いがあっても、浜田市の将来のためにという共通認識のもと、自己研鑽に励みながら、前向きに建設的な議論を積極的に行っております。

今後、財政的に厳しさが増しても、軸がぶれずに二元代表制の一翼を担っていきたいと決意を新たにしておりますので、市民の皆様のご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

平石 誠 副議長



昨年末に公表されました中期財政計画では、国からの交付金等の削減により平成30年度から浜田市の財政状況が厳しくなり、それ以降も続く予想となっています。今後はこの赤字幅をいかに削減しながらまちづくりをしていくかが大きなポイントとなってきます。

市民サービスの向上と赤字の削減という問題解決に向け、浜田市議会として、市民の皆さまと共に一丸となって取組んでまいりますので、今後もお指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

委員会の委員が変わり、再スタート

議会運営委員会



後列左から：布施賢司、澁谷幹雄、串崎利行、牛尾 昭、
佐々木豊治、足立 豪、飛野弘二
前列左から：岡本正友、田畑敬二、芦谷英夫、江角敏和

総務文教委員会



後列左から：岡野克俊、田畑敬二、佐々木豊治、野藤 薫
前列左から：江角敏和、岡本正友、上野 茂、芦谷英夫

福祉環境委員会



後列左から：平石 誠、森谷公昭、澁谷幹雄、西村 健
前列左から：柳楽真智子、道下文男、足立 豪、小川稔宏

産業建設委員会



後列左から：布施賢司、牛尾 昭、串崎利行
前列左から：牛尾博美、笹田 卓、飛野弘二、原田義則

予算決算委員会



布施賢司、野藤 薫
※委員は議長を除く全議員

議会広報広聴委員会



後列左から：平石 誠、岡野克俊、足立 豪、牛尾 昭、
小川稔宏、野藤 薫
前列左から：柳楽真智子、芦谷英夫、串崎利行、飛野弘二

平成27年12月定例会

平成27年12月定例会は11月30日に招集され、12月16日までの17日間の会期で開かれました。今定例会で提出された議案は25件、請願3件、陳情2件でした。

委員会審査の様子は4ページから5ページに、採択の結果は7ページに掲載しています。また、個人一般質問には20人が立ち、論戦の様子は8ページから掲載しています。



市税徴収について質疑! “換価や分割納入 納付徴収に猶予”

— 総務文教委員会 —

総務文教委員会に付託された同意2件、議案6件、請願2件について審査を行いました。

「浜田市条例等の一部を改正する条例について」は、国の地方税等の改正に伴う条例改正で、申請による換価（物納）の猶予に対する徴収側の不利益はないかなど、周知と相談への対応について質疑がありました。いずれも納税者とよく相談しながら対応するとの答弁があり、採決の結果、全会一致で可決すべきものと決しました。

「サン・ビレッジ浜田条例の一部を改正する条例について」は、弥栄フットサル場の料金とのすり合わせや、夜間照明の設置についての質疑があり、同一所管で調整をし、また夜間照明は、おおむね設備は整ったと考え、追加設置の予定はないとの答弁があり、採決の結果、全会一致で可決すべきものと決しました。



フットサル場が整備されるサンビレッジ浜田

「新たに生じた土地の確認について（三隅町古市場）」は、埋立ての目的や道路新設に至る質疑があり、漁業集落で道路が狭く、消防活動に支障をきたす状況から計画し、道路用地を確保するために海を埋立てたとの答弁があり、採決の結果、全会一致で可決すべきものと決しました。

「人権擁護委員候補者の推薦について」は、人選に当たっては、各自治区のみで、職業的区分はないのかとの質疑があり、現在そういった区分はしていない。また地域の声や前任者、浜田市人権協議会の意見を伺いながら人選しているとの答弁があり、採決の結果全会一致で可決すべきものと決しました。その他、付託された同意1件、議案3件についても審査し、採決の結果全会一致で可決すべきものと決しました。

次に請願2件について審査を行いました。

「JR三江線存続のための緊急支援を求める意見書の提出について」は、県西部地域の観光や定住面、人口減少の歯止めの観点や、地域経済の影響からの過疎化への懸念などが示されました。採決の結果全会一致で可決すべきものと決しました。

また、「島根原発の稼働に反対し再生可能エネルギーの飛躍的な普及を求める意見書の提出について」は、地球温暖化の影響や電力需要の対応など意見が分かれ、採決の結果、賛成少数で不採択すべきものと決しました。

マイナンバーの 利用始まる!

— 福祉環境委員会 —

福祉環境委員会に付託された議案2件、請願1件について審査を行いました。

「浜田市個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の制定について」は、委員から条例制定の目的や通知カードの配達状況などについての質疑があり、この条例を制定しなければ個人番号を利用した事務処理ができない。通知カードは2464通が未配達であるとの答弁がありました。

「工事請負契約の締結について（浜田浄苑基幹的設備改良工



改良工事される浜田浄苑

事」は、契約に至った経緯や国からの交付金などについて質疑があり、プロポーザル方式で業者選定をした。契約金額8億4672万円のうち、交付金は約4億9千万円との答弁がありました。以上の議案2件は全会一致で可決すべきものと決しました。

また、「国民皆保険制度の維持・発展を求める意見書の提出について」は、入院時食事療養費の引き上げや患者申出療養の創設など国民皆保険制度の崩壊を危惧するといふ賛成意見や、生活弱者対策はなされていることや患者申出療養の安全性は確保されている、医療格差には繋がらないとの反対意見がありました。審査の結果、賛成少数で不採択すべきものと決しました。

国民宿舎千畳苑の今後に 質疑が集中!

— 産業建設委員会 —

び浜田市特定公共賃貸住宅条例の一部を改正する条例について」は、駐車場使用料の収入として見込まれる金額773万円を維持管理や整備に充てることだが、市営住宅の共同施設として整備した駐車場とはどういうものを指すのかとの質疑があり、舗装して線で区割りし、車止めを置くなど、駐車場として適した整備のことで、通路や広場の整備費として使うとの答弁がありました。



浜田市国民宿舎千畳苑

産業建設委員会に付託された議案10件、陳情1件について審査を行いました。

「浜田市特別会計条例の一部を改正する条例について」は、浜田市国民宿舎千畳苑については、総合的に判断して、観光立市を市長が掲げている以上、10年20年の骨太の計画を建てる必要があるとの質疑があり、今後どこまでの改修を行うべきかしっかりと考え、28、29年度以降も精査し、指定管理者と協議するとの答弁がありました。

「浜田市営住宅条例及

「指定管理者の指定について（浜田市かなぎウエスタンライディングパーク）」は、経営が厳しいという話を聞いているが経営収支はどうなっているのかとの質疑があり、執行部からは26年度は営業利益だけ見ると

86万3千円の収益だが、確定申告消費税を引いた当期純利益はマイナスの39万5千円で、非常に厳しいのは否めないとの答弁がありました。



浜田市かなぎウエスタンライディングパーク

「指定管理者の指定について（浜田市雇用促進住宅（小福井団地及び内田団地）」は、今までの管理委託先は島根県住宅供給公社だったが、今回公社はどうしたのかとの質疑があり、民間参入によって地域経済の活性化への貢献面を考慮して、島根県住宅供給公社を除いて募集する結論に至ったとの答弁がありました。

議案10件については、いずれも可決すべきものと決しました。

また、「市道45-3-027線の一部道路舗装について」の陳情は、継続審査となりました。

当初見込みより増! 美又温泉国民保養センター

— 予算決算委員会 —

をつないでいた人が体調を崩し保護に至ってしまった等であると考え、対策は今の保護制度では直接的な支援は難しいが、昨年度からモデル事業として「生活困窮者自立支援事業」を社会福祉協議会に委託している。保護に至る前に相談・支援・保護措置に取組んでおり、市との連携もうまく取れている、との答弁がありました。

予算決算委員会に付託された議案1件「平成27年度浜田市一般会計補正予算」（第3号）について審査を行いました。

民生費の扶助費については金額が相当増額になっているが、被保護者世帯や被保護者数が増えているからか、それとも全体的に医療扶助が増えたのか、また、その理由と対策はとの質疑があり、執行部からは被保護の世帯数、人数が増加しているうえに高齢者の保護が増加している。医療扶助の単価も上がっている。高齢者の増加の理由は年金等でぎりぎり生活

をしないという人が体調を崩し保護に至ってしまった等であると考え、対策は今の保護制度では直接的な支援は難しいが、昨年度からモデル事業として「生活困窮者自立支援事業」を社会福祉協議会に委託している。保護に至る前に相談・支援・保護措置に取組んでおり、市との連携もうまく取れている、との答弁がありました。

商工費の美又温泉国民保養センター運営費について、一般財源が70万円減額の理由や管理運営委託料、光熱費は当初予算にあるが、今回の補正でも計上されている。また、公課費の自身を問う質疑があり、執行部から補正の理由は利用増の入湯料収入（650万円）と前指定管理者からの原状回復相当費収入（200万円）計850万円と支出の修繕料（780万円）の差額70万円を一般財源から減額、管理運営委託料130万円増額は家族風呂の利用が想定を大きく上回り、清掃、点検の



委員会審査の様子

人件費が増加、また、多くの入湯者があり、加温循環の光熱費も254万円増額補正した。

公課費は市に収める入湯税で当初3万2千人（大人80%）と見込んだが、実際は4万1千人（大人94%）で1人150円の1万3千人分増額補正したと答弁がありました。

土木費の「市営住宅適正配置事業」について長浜住宅の解体が次年度実施になった上に1300万円の増額補正の理由について質疑があり、執行部から木造の解体単価で見込んだが、処理しきれないこと、周辺の安全対策費や運搬費が予想以上にかかったことと答弁がありました。

採決の結果、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。

請願・陳情の審査経過及び結果 =平成27年12月定例会審査分=

| 区分 | 請願・陳情の内容 | 提出者 | 審査した経過と結果 |
|----|---|--|-------------------|
| 請願 | JR三江線存続のための緊急支援を求め る意見書の提出について | 三江線を守る会 代表代行 日高 勝明 様 他2名 | 総務文教委員会 (採 択) |
| 請願 | 島根原発の稼働・再稼働に反対し再生 可能エネルギーの飛躍的な普及を求め る意見書の提出について | 原発ゼロをめざす島根の会 共同代表 山崎 泰子 様 | 総務文教委員会 (不採択) |
| 請願 | 国民皆保険制度の維持・発展を求め る意見書の提出について | 島根県保険医協会 会 長 岩田 兼正 様 | 福祉環境委員会 (不採択) |
| 陳情 | 浜田ビューティーカレッジへの支援に ついて | 浜田ビューティーカレッジ 理 事 長 井田 貫大 様 校 長 澳本千栄子 様 | 総務文教委員会 (採 択) |
| 陳情 | 市道45-3-027線の一部道路舗装につ いて | 金田町内会長 山内 泰之 様 他3名 | 産業建設委員会 (継続審査) |

可

決

事

業

障がい児通所給付事業 補正

児童通所サービスの給付により、障がい児の
身近な地域での支援。

放課後等のデイサービス利用者の増による調整。
(のべ利用者数)

30人/月(当初見込) → 213人/月(実績)

| | |
|-------|----------|
| 補正前 | 9,063千円 |
| ◎ 補正額 | 16,500千円 |
| 補正後 | 25,563千円 |

浜田市室内プール改修事業 補正

浜田市室内プール改修工事施工に伴い、指定
管理者である一般社団法人浜田市水泳連盟に
対し工事期間中の営業休止によって生じる収
入減等を補填する。

○補償金 9,666千円

| | |
|-------|----------|
| 補正前 | 48,050千円 |
| ◎ 補正額 | 9,666千円 |
| 補正後 | 57,716千円 |

サン・ビレッジ浜田条例の 一部を改正する条例

サン・ビレッジ浜田のスポーツ広場内に、新た
にフットサルコートを設置することに伴い、所
要の改正を行う。

フットサルコートの利用料金の追加

- (1) 中学生以下 1時間につき 250円
- (2) 高校生・大学生・一般
1時間につき 510円

施行期日 平成28年4月1日

ふるさと寄附促進事業 補正

ふるさと寄附の総額を10億円から13億円に増
額する調整。

| | |
|----------------|-----------|
| ○ふるさと寄附特産品代 | 135,000千円 |
| ○ふるさと寄附PR業務委託料 | 10,500千円 |
| ○ふるさと応援基金積立金 | 143,285千円 |
| ○事務費 | 11,215千円 |

| | |
|-------|-------------|
| 補正前 | 1,303,278千円 |
| ◎ 補正額 | 300,000千円 |
| 補正後 | 1,603,278千円 |

平成27年12月定例会での議案等の賛否の公開(本会議)

| 議案番号 | 議案名 | 賛成 | 反対 |
|---------|--|----|----|
| 議案第90号 | 浜田市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の制定について | 23 | 0 |
| 議案第91号 | 浜田市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例及び浜田市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例について | 23 | 0 |
| 議案第92号 | 浜田市特別会計条例の一部を改正する条例について | 23 | 0 |
| 議案第93号 | 浜田市税条例等の一部を改正する条例について | 23 | 0 |
| 議案第94号 | 浜田市手数料条例の一部を改正する条例について | 23 | 0 |
| 議案第95号 | サン・ビレッジ浜田条例の一部を改正する条例について | 23 | 0 |
| 議案第96号 | 浜田市公共下水道条例の一部を改正する条例について | 23 | 0 |
| 議案第97号 | 浜田市営住宅条例及び浜田市特定公共賃貸住宅条例の一部を改正する条例について 反対：森谷、西村 | 21 | 2 |
| 議案第98号 | 浜田市営地域定住住宅条例の一部を改正する条例について | 23 | 0 |
| 議案第99号 | 指定管理者の指定について(浜田市かなぎウェスタンライディングパーク) | 23 | 0 |
| 議案第100号 | 指定管理者の指定について(浜田市波佐地場産業技術研修センター) 反対：牛尾昭 | 22 | 1 |
| 議案第101号 | 指定管理者の指定について(浜田市木田暮らしの学校) | 23 | 0 |
| 議案第102号 | 指定管理者の指定について(浜田市雇用促進住宅(小福井団地及び内田団地)) 反対：森谷 | 22 | 1 |
| 議案第103号 | 指定管理者の指定について(浜田市雇用促進住宅(国府団地及び金城団地)) 反対：森谷 | 22 | 1 |
| 議案第104号 | 工事請負契約の締結について(浜田浄苑基幹的設備改良工事) | 23 | 0 |
| 議案第105号 | 新たに生じた土地の確認について | 23 | 0 |
| 議案第106号 | 町の区域の変更について | 23 | 0 |
| 議案第107号 | 公の施設の区域外設置に関する協議について | 23 | 0 |
| 議案第108号 | 市道路線の廃止について(今福93号線) | 23 | 0 |
| 議案第109号 | 市道路線の認定について(今福93号線外) | 23 | 0 |
| 議案第110号 | 第2次浜田市総合振興計画の策定について | 23 | 0 |
| 議案第111号 | 平成27年度浜田市一般会計補正予算(第3号) | 23 | 0 |
| 同意第14号 | 人権擁護委員候補者の推薦について | 23 | 0 |
| 同意第15号 | 人権擁護委員候補者の推薦について | 23 | 0 |
| 請願第10号 | JR三江線存続のための緊急支援を求める意見書の提出について | 23 | 0 |
| 請願第11号 | 島根原発の稼働・再稼働に反対し再生可能エネルギーの飛躍的な普及を求める意見書の提出について 賛成：岡野、小川、森谷、笹田、芦谷、西村、江角、牛尾昭 | 8 | 15 |
| 請願第12号 | 国民皆保険制度の維持・発展を求める意見書の提出について 賛成：岡野、小川、森谷、笹田、芦谷、西村、江角、牛尾昭 | 8 | 15 |
| 発議第6号 | JR三江線存続のための緊急支援を求める意見書について | 23 | 0 |



反対討論
西村 健 議員
本条例改正の目的は、「受益者の公平な負担」に名を借りた駐車場使用料の徴収にある。

議案第97号 浜田市
営住宅条例及び浜田市
特定公共賃貸住宅条例
の一部を改正する条例
について

議案に対して議員が
討論を行いました

反対理由の詳細については市議会HPをご覧ください。浜田市議会HP→会議日程・結果→賛否の公開

議案に対して議員が
討論を行いました

議案第102号 指定管理者の指定について（浜田市雇用促進住宅（小福井団地及び内田団地））

反対討論

森谷 公昭 議員
本業の赤字が過去8年間で3回、棚卸が7年間同額、直近の在庫が平年の3倍の1・6億円と不安定。

議案第103号 指定管理者の指定について（浜田市雇用促進住宅（国府団地及び金城団地））

反対討論

森谷 公昭 議員
この業者は、浜田市の住宅指定管理業務の100%約500世帯を独占受注で不自然。



個人一般質問 20名が論戦

18歳選挙権導入で
若者の投票率向上対策は



答 大学内で期日前投票や
高校で出前授業を行う

柳楽 真智子 議員

質問 次期の参議院選挙から18歳選挙権が導入される。投票率の低下が問題とされるなか、若者の投票率向上対策を問う。

選管委員長 高校生については国が副教材を配布。模擬投票や出前授業、県立大学内での期日前投票の実施などを考えている。

質問 今後の浜田市を担う若者の政治参加はとても重要だと思いが、子どもや若者の市議会開催の考えを問う。

地域政策部長 中高生アンケート調査で地元貢献の意識の高さがわかった。学生や青年層の模擬議会の開催は政治関心を高める手法として検討する。

質問 徘徊模擬訓練が周布地区で実施されたが、その有効性と課題を問う。
健康福祉部長 訓練の必要性を感じていただけだ



投票に行きましょう

と思う。地区活動や認知症サポーター養成講座で認知症理解や接し方の周知が必要と考えている。

質問 認知症サポート医の周知方法を問う。

健康福祉部長 認知症サポーター（※1）養成講座などで紹介している。浜田市のホームページ掲載を検討する。

その他の質問

- 農業支援について
- 学習支援について
- 高齢者の買い物支援
- テレワークの導入

どうする平成33年度？
赤字累計額20億円！



答 持続可能な財政体質へ
転換が第一歩となる

田畑 敬二 議員

質問 中期財政計画では、平成30年度から一般会計の単年度収支が赤字になり33年度まで、財政赤字累計額が20億になり、さらなる行財政改革が必要と結論付けているが数値を交えて具体的に問う。

財務部長 平成28年度から33年度にかけて、普通交付税の合併算定替えから一本算定への移行の影響で、最終的に単年度16億4千万円削減され、財政状況は急激に悪化する。今後の財政運営については、新たな行財政改革の中で平成33年の実質単年度収支の赤字11億円を解消することが、持続可能な財政体質転換への第一歩になる。

質問 浜田漁港高度衛生管理型荷捌所整備費（沖底用）7号岸壁に15億、20億円、4号市場にまき



高度衛生管理型荷捌所整備予定地

市長 全国に13ある特定第3種漁港で12港が計画策定や整備に着手するなか、浜田漁港だけ事業が進まない状況である。この状況を打開しなければ、浜田の水産の未来はないとの思いから昨年度、市が事業主体として取組むこととした。

その他の質問

- 浜田火葬場整備計画

※1 認知症サポーターとは、特定非営利活動法人が実施する「認知症サポーターキャラバン事業」における認知症サポーター養成講座を受講・修了した者を称する名称

敬老乗車券の補助率を 引き上げるべきだ！



飛野 弘一 議員

答 条件緩和するので
難しい！

質問 地域公共交通再編計画（案）が示された。敬老乗車券交付事業において試行実施結果を検証と分析し、来年度から本格実施を目指すところだが、主な変更点を問う。

質問 コミュニティワゴンによる地域活動モデル支援について問う。

地域政策部長 対象9地区から全市とする。購入上限9冊から10冊とする。これらの条件緩和に伴い販売額は500円から1500円としたい。

質問 地区まちづくり委員会などにワゴン車を貸与して、買い物、送迎など地域活動の活性化のため実施してみたい。

質問 販売額500円で試行し本格実施に際し3倍の1500円は納得できない。補助率を上げるべきだが経緯を問う。

その他の質問
○地方創生関連交付額と申請内容について
○地域井戸端会「弥栄会館編」農業を維持するための経費削減への意見8項目について



井戸端会地域報告会
弥栄会館編の風景

6人に1人、急がれる 子どもの貧困対策！



小川 稔宏 議員

答 学校や教委と福祉部門が
連携を深め取組む

質問 子どもの貧困の実態把握と隠れた貧困の早期発見について問う。

質問 中学校で雇用、長時間労働、賃金格差等の問題と労働法を関連付けた学習を行っている。

健康福祉部長 県の計画を進める。要・準要保護数は低くなく改善は必要。

産業経済部長 非正規労働者拡大でワークルールの教育の機会が減少している。研修会や労働関係セミナー等を開催している。

質問 ランドセル・制服等のリサイクルバンク事業について問う。

教育部長 資源活用と貧困支援に有効で先進事例を参考に働きかけたい。

質問 18歳選挙権に伴う主権者教育について問う。



小学校の制服・ランドセル・教材等

火葬場整備計画の根拠が くずれてきたのでは



佐々木 豊治 議員

答 浜田火葬場を改修して
残す試算もしていく

質問 浜田市公共施設白書に示された基準に照らすと、浜田火葬場の耐用年数は60年とされ、火葬場整備計画当時に示された更新時期34年と相異している。加えて三隅火葬場整備について、もう少し経費がかかることと、当時の計画策定の一歩の根拠である「一番経費がかからない」という視点がくずれてきたのではな

質問 県内はもとより、全国的に不妊治療の助成が拡大してきているが、特に高額な特定不妊治療について、当市でも市民の負担軽減に前向きに取り組むべきではないか問う。

市民生活部長 「火葬場整備計画」は行財政改革の視点から策定されたものであり、財政負担の観点から、新たに浜田市火葬場を改修する事業費を試算することとした。これが、現在の計画である「三隅へ統合」より負担が少なくなれば財政負担軽減の根拠もくずれてくる可能性もあると認識する。

健康福祉部長 不妊治療は妊娠出産を望むご夫婦にとつて、身体的、精神的、また経済的にも大きな負担を強いるものであり、さらなる支援が必要と考える。特定不妊治療について県の助成以外に市独自の支援を検討する。



揺れ動く浜田火葬場

業務委託は各課共通のルールが必要では？



答 早急にルールの整備を行う

足立 豪 議員

質問 業務委託で、プロポーザル方式（※2）による業者募集が行われるが、各課によって募集の内容が異なっている。一定の基準整備はされているはずだが、現状を問う。

総務部長 プロポーザル方式による業者委託選定は、現在各課の判断に基づいて行っているのが現状だ。早急にルールを整備する。

質問 浜田市緊急通報体制整備事業業務委託事業（通称 サスケ）は、なぜ広報はまだなどホームページ以外で周知しなかったのか問う。

健康福祉部長 浜田市のホームページで募集することが一つの指標になっている。

質問 この5年間の評価を問う。

健康福祉部長 評価はし

学力向上へさらなる土曜学習の拡充を！



答 放課後子ども教室も含め拡充を図る

道下 文男 議員

質問 浜田市の将来を担う子どもたちの学力向上が望まれている中、昨年度から実施している「土曜学習」の普及に強く不満を感じているが所見を問う。

教育部長 今年度から、中央図書館・今福公民館・周布公民館の3ヶ所で実施している、登録生徒数は50名である。生徒にとって、部活動や塾等で参加しにくいのではないかととも思われるが、生徒や保護者への周知が十分でないことも考えられるので、引き続き事業の周知を図りたい。

市長 地域包括支援センターと一体となって検討したい。



緊急通報装置の一例

質問 この事業は豊高田市の「学びの21世紀塾」を目標に掲げているが、浜田市の現状といえば、普及が進まず中学三年生の受験勉強のフォロー的な要素としか受取れない。

どうする水道料金値上げ抑制対策は！



答 計画以上に下げられないか検討する！

牛尾 昭 議員

質問 昨年の3月議会でも質問しているが、その後の審議会の検討状況について問う。

上下水道部長 現在、答申案を審議中で、来年1月に市長へ答申予定。

質問 国の理不尽な政策転換で値上げせざるを得ないが、市はどのような対策をしているのか問う。

上下水道部長 松浦松江市長などと、総務省、厚生労働省、地元国会議員に要望活動している。

質問 今度、石破大臣がみえるが直訴をしては。市長 気持ち分かるが別件なので難しい。

質問 自治区別の債務は。上下水道部長 金城22億4千万、旭20億7千万、弥栄4億7千万、三隅15億9千万円である。

質問 各自治区の債務に対して、一定の地域振興

基金を入れてはどうか問う。

各自治区長 地域協議会に諮り相談したい。

質問 旧浜田の値上げ幅が大きく、水産加工業や福祉施設が厳しいが問う。

上下水道部長 大口利用者に対して、現在3区分を4区分とし、500t以上は下げる方向である。

質問 値上げ時期と消費税アップが重なるので、さらに厳しいが問う。

上下水道部長 計画以上下げられないか検討する。



水量豊富な美川水源地

※2 プロポーザル方式とは、業務の委託先や建築物の設計者を選定する際に、複数の者に目的物に対する企画を提案してもらい、その中から優れた提案を行った者を選定すること

「ロードマップ」進捗状況の自己採点は？



菅田 卓議員
答 道半ばで自己採点はできない

質問 「元氣な浜田」をつくるためのロードマップ（※3）で、水産業の活性化についての進捗状況は？

産業経済部長 沖合底曳網漁業5ヶ統、高度衛生管理型荷捌所、しまねお魚センターについては順調だが、まき網漁業2ヶ統、冷凍冷蔵庫の整備、瀬戸ヶ島埋立地の活用、公設水産物仲買売場については検討を進め、実行していく。



新たな整備が期待される浜田漁港

小中学生の学力低下が、進んでいるのでは？



岡野 克俊議員
答 学力調査の結果を重く受け止めている

質問 子育てしながら働けるより良い環境づくりについての進捗状況は？

健康福祉部長 保育士の処遇改善、0歳児受入促進、保育料の軽減、児童医療費の負担軽減については順調だが、保育士確保については、努力する必要がある。



めざせ！東京オリンピック！

質問 2020年東京五輪が開催されるが、スポーツ振興をロードマップに追加できないか？

市長 他にやるべきことがあり、考えていない。

質問 学力向上に向けて教員の研修や先進地視察の状況を問う。

教育長 図書館活用教育や学力育成リーダー研修を実施し、さらに福井市に教員3名を1週間派遣し、他の教員には研修報告会を実施している。

質問 ICT教材の利用状況と「学習用タブレット」全員配布の検討を問う。

教育部長 コンピュータやプロジェクト等のICT機器の学校現場での活用は進んできている。タブレット整備については、現在、ICT機器活用教育研究指定校（美川小・国府小）において導入を検討している段階で、今後の研究課題としてい。

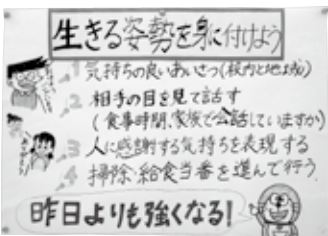
質問 シングルペアレント受入事業において介護施設以外への研修・就職

の拡充の予定を問う。

地域政策部長 人材の不足している看護師や保育士等も視野に入れている。

質問 ひとり親本人の市内各種学校への就学支援の状況を問う。

健康福祉部長 ひとり親が2年以上養成機関で就業する場合は月額上限10万円を給付している。今年度は3校において計9名の利用実績があった。



生徒が考えた教訓（視察先の高知県中学校にて）

浜田商港を活用し農家所得500万実現へ！



上野 茂議員
答 TPP大筋合意を好機とし、輸出に取組む

質問 TPPの発効により、農業が最も影響を受ける。第2次浜田市総合振興計画にむけ、農林水産業等主要施策への影響を問う。

産業経済部長 影響が少なからずあると考える。攻めの農林水産業に取組む。

質問 農家所得500万の実現を目指すには浜田商港を活用し、浜田の特産品である梨・柿・ブドウ、海外で人気のある醤油、日本酒など輸出に力を入れていくべきと考えられているが実績と熱意を問う。

産業経済部長 数年前、醤油、ブドウの輸出が少量あったが今はない、TPPの大筋合意を好機ととらえ、生産者や関係機関と連携し、地元産品の海外輸出に取組む。

質問 空き家を借りたい

との問い合わせがあるが、空き家バンク登録への市の取組みを問う。

地域政策部長 平成22年度47件をピークに現時点では利用希望者に紹介できる物件は少ない状況で、今後、増加に向け努力する。

質問 学校施設を活用し、雪の降る寂しい冬をみんなで楽しく過ごせる冬期限定施設の考えは？

地域政策部長 地域での利活用を最優先に考え、要望があれば協議する。



旧浜田高校今市分校

※3 「元氣な浜田」をつくるためのロードマップとは、重点政策を重点的に取組む項目や、その他の市政運営に係る重要な事項について、いつ検討し、いつやるのか、という行程を具体的に表したもの

若い人の定住には雇用が第一

考えを問う

荻谷 英夫 議員



答 雇用創出の目標達成に向け取組む

質問 無料職業紹介事業の機能充実について問う。

産業経済部長 求職と求人

の条件を結び付けるよう、ハローワークやミドルシニア仕事センターなどと連携し、多くの就職につながるよう努めたい。

質問 地方版ハローワークなど雇用の総合窓口機能の充実を問う。

産業経済部長 ハロー

ワークと求人情報は共有され、求職者情報は共有されていない。雇用のワンストップサービスは有用であり検討したい。

質問 乗合タクシー利用者減少の原因とこれからの公共交通施策を問う。

地域政策部長 サービスが地域ニーズに合致せず、利用者の要望を踏まえ、一部運行区域拡大、敬老乗車券、コミュニティワゴン、グループタクシー

利用などを進めたい。
質問 生活困窮者自立支援事業の子ども学習支援事業の取組みを問う。
健康福祉部長 子ども学習支援は子ども貧困対策として重要であり、実施に向けて取組みたい。
質問 市民の平均寿命などが県下の下位にあるが、その原因と対策を問う。
健康福祉部長 原因はがん、心疾患、脳卒中などで、早期発見に向け検診の奨励、未受診者の勧奨、保健指導などに取組みたい。



働く人を守ることを訴える街宣活動

単年度赤字11億円の解消策は？

解消策は？

西村 健 議員



答 行財政改革の実施により解消する

質問 26年度中期財政計画の歳入、歳出額が、25年度と比較して大きく増えている理由は何か。

財政部長 歳出では、市長が進めている「元気な浜田事業」に伴う普通建設事業費の増であり、歳入では地方債と財政調整基金の増である。

質問 26年度中期財政計画によれば33年度の収支は11億円の赤字となつているが、本年度の計画ではどの程度と予測しているのか。

財政部長 現在策定中でありお示しできないが、赤字は拡大すると予測している。

質問 30年度以降の単年度赤字解消の展望や具体策をいまずす必要があると思つがどうか。

財務部長 本年度中に策定予定の行財政改革実施

計画によりお示しする。
質問 行財政改革だけで赤字が解消できるとは思えないがどうか。
財務部長 まず行財政改革を確実にを行い、それで解消できなければ次の段階の議論が必要である。
質問 普通建設事業の見直しが必要ではないか。
財務部長 中期財政計画では普通建設事業費は減つており、赤字ではあるが、財政調整基金の調整で収まる計画である。



26、27年度中期財政計画

T・P・P大筋合意、今後市の農業支援対策は？

競争力強化対策を要望

串崎 利行 議員



答 国に対し、国内農業の競争力強化対策を要望

質問 高齢農家の方は、経験、知識、技術を高く評価でき、指導的立場にある。高齢化農家の支援について問う。

産業経済部長 後継者育成や地域振興の観点からも、高齢農業者の活躍の場を広げていく。

質問 浜田市の兼業農家は約7割で、多面的機能等を支えてきた。兼業農家が農業を続けられないと、地域が崩壊すると思つが、今後の維持発展の支援を問う。

産業経済部長 兼業農家を含めた地域ぐるみで農業振興に努めており、引き続き幅広い支援をする。

質問 趣味のある高齢者は、認知症になりにくいと聞く。趣味を続けることで認知症の予防になり、心身機能維持につながるが対策を問う。

健康福祉部長 高齢者サロン等の活動で、さまざまな趣味の集いを育成支援する。

質問 認知症予防に適していると思う、ゲートボール普及推進についての取組み状況を問う。
教育部長 高齢者が気軽に参加できる軽スポーツに位置つけており、積極的に普及支援をする。

その他の質問
○認知症初期集中支援チームの状況
○振り込め詐欺の対策



いきいきサロン (弥栄自治区)

「浜田大名行列奴隊」の 無形文化財指定は！



澁谷 幹雄 議員

答 課題は多いが、
研究整理したい

質問 歴史の「光」を捉えるべきで、浜田城の「自焼退城」にこだわる必要はないのではないか？

教育長 浜田藩開府四百年事業の成功に向け、英知を結集したい。

質問 毎年の浜っ子春祭りの「浜田大名行列奴隊」は、隊列の美しさといひ、無形文化財に指定して、きちんとした体制で後世に伝承すべきでは？

教育長 技術の保持や指導者、組織など課題は多いが、研究整理したい。

質問 浜田市の小中学校の児童生徒の学力を向上させるには、教育予算を増額すべきではないか？

教育長 出雲市松江市と比較しても教育費の割合は低い。獲得に努める。

質問 ふるさと寄附の財源を使っても、浜田市



華麗な演舞が祭りを盛り上げる「浜田大名行列奴隊」

は、子育て支援と国民健康保険料の値下げという住民福祉の向上に取組むべきではないのか？

健康福祉部長 ふるさと寄附を使うことは寄付者の理解が難しいが、福祉向上には全力を尽くす。

質問 「元氣な浜田に向け、議会と連携して国策の「国家戦略特区」の申請に取組むべきでは？

市長 浜田市長菅市民の坂根正弘氏が諮問会議の議員でもあり、激励も受けているので検討する。

まちづくり推進委員会 検証と次期交付金は？



布施 賢司 議員

答 現況は検証しており、
時期交付金は見直す

質問 現況の地区まちづくり推進委員会の検証は、

地域政策部長 現在28の団体が設立され、地域の活性化、地域課題の解決に向けて、多くは主体的に事業に取り組んでいただいている。しかし、浜田自治区の市街地では、人口規模が大きいことや習慣や行事の違いなどから、組織の形態や活動内容に差が生じ、思つように活動や設立が進んでいないと認識している。職員や地域おこし協力隊が積極的に地域に出向き、団体の充実や設立に関わっていく。

質問 まちづくり総合交付金次期制度（案）は、現行とどう違うのか。

地域政策部長 主な改正点は交付金の算定方法で、積算単価の変更と認定要件の緩和を考えている。

質問 自主防災組織率と避難所数を問う。

総務部長 浜田市全体の自主防災組織率は約47%。避難所数は現在357ヶ所を指定している。

質問 周布地区の徘徊模擬訓練の効果を問う。

健康福祉部長 認知症になつても安心して暮らせるまちづくりにつながる。

質問 城山整備は担当課が複数あり、オール浜田で本当にできるのか問う。

地域政策部長 窓口を通して、連携して取組む。



「みはし地域まちづくりネットワーク」の事業「今井迫川であそぼう」

「再興を期し自焼退城」 市長の思いとは？



野藤 薫 議員

答 浜田開府四百年を機に
史実を後世へ伝えたい

質問 周布地区の地域并戸端会議で、「身近な所に子どもが遊ぶ里山のよな公園があれば」とのご意見があつた。美郷町別府地区で地域住民が私林を里山公園にと報道もあつた。所見を問う。

都市建設部長 子どもの外遊びは成長過程に重要なものと考えられる。周布地区ではミニ開発の市街化により公園が不足している。現在は遊具の長寿命化を優先している。遊休地の活用など検討する。美郷町の例は補助金を利用し若者定住住宅に入居した世帯に地域が作ったものと認識している。

質問 浜田開府四百年事業について問う。

市長 11月に県大でブレ講演会を開き、浜田藩が成立することで城下町や港が整備され、今日の石

見の中核都市の基礎ができた。自焼退城は煙硝蔵に火を付け三の丸や侍屋敷の一部が消失した。浜田藩と津和野藩は港が整備されることで、経済、人、文化等一体化していたなどが明らかになつた。単に浜田「藩」の開府を記念するのではなく、浜田周辺が一体として開かれた「浜田開府」を記念するべきとの思いである。城山公園の整備と教育・観光・交流の拠点づくりを進めたい。



整備が待たれる城山周遊道路

同じ浜田の土建会社が 全て受注、異常では？



森谷 公昭 議員

答 法に定めた方法で実施され、異常ではない。

質問 雇用促進住宅4棟の指定管理が同じ「浜田の土建業者」だ。広報等問題があるのでは？

都市建設部長 広報紙へ掲載はないが問題ない。

質問 その「浜田の土建業者」は、相生水源地の解体舗装工事を随意契約した業者と同じか？

都市建設部長 存しない。

質問 その浜田の土建業者の代表は、市長の後援会の幹部及び同級生か？

都市建設部長 存しない。

質問 市長借上げ官舎の訴訟費用の負担は市か？

総務部長 個人負担。

質問 市長は、東京出張の際、横浜自宅泊でも食卓費をもらうのか？

総務部長 規程どおり。

質問 歴史館予定場所は、山崩れ等災害のことを考慮した場所か？

地域政策部長 県は見直

し中、市も以後検討する。

質問 君市踏切は、原則は橋なのに、説明会で橋の話がなかった理由は？

都市建設部長 橋はコストがかかるため。

質問 廃プラ焼却の開始予定は？

市民生活部長 来年早々を予定している。

質問 消防署員の処分(約50人)内容が黒塗りだ。適否確認用に開示をすべきでは？

消防長 基準に基づいて公表している。



歴史館予定地近辺



焼却場

業務委託の低入札の状況は 問題では？



岡本 正友 議員

答 安全を担保させる低入札価格調査制度を導入

質問 生活路線バス及び予約型乗合タクシー・スクールバス等業務委託の低入札に安全性を危惧する。対策の取組みと新入札制度への考え方を問う。

総務部長 業務の質の低下や労働条件の悪化等を防止する目的で、低入札価格調査制度を導入する。

質問 ゆめタウン前のバス停設置について問う。

総務部長 国交省との協議では現状は困難である。ゆめタウンの敷地にバス停設置を検討し、実現に向けてアプローチしたい。

質問 老人世帯など家庭から出る一般廃棄物を、家電屋さんなど慈善の処分行為であっても、事業所の業務と扱い多額の出費の産業廃棄物として処分をしなければならなくなったことに、市民から強い不満の声を聞く。そ

の理由と、被災や独居老人の対応などのほか、運搬許可制度等の緩和策の提言について所見を問う。

市民生活部長 顧客に対するサービスの一部と捉えることが最も合理的であり、自己搬入される場合を除き、産業廃棄物として同様に取扱うべきものと認識する。提言の災害関連への対応、収集運搬許可制度、ごみ排出者の同行義務及び廃プラの焼却処理への移行については検討をする。



スクールバス業務委託

JR三江線 連携の考えは？



江角 敏和 議員

答 重要な路線であり危機感をもって取組む

質問 JR三江線の廃止が持ち上がっている。浜田駅発着で江津駅経由の列車や、雇用喪失も懸念されるが、浜田市の姿勢と連携へ向けた沿線自治体との連携の考えを問う。

地域政策部長 県西部の重要な鉄道路線であり、沿線自治体や県と、さらなる連携強化を図りたい。

質問 2000年に鉄道事業法が施行され、端的に言う、事業者が廃止を届ければ、原則1年後に実施が可能になった。JR西日本の社長は、「今後、三江線のケースが他のモデルとなる」と答えている。木次線も山口線も、そして出雲以西の山陰本線も例外ではない。具体的なアクションを起こす考えはないか問う。

地域政策部長 危機感をもち、これ以上、地域の

過疎化が進まないよう、情報収集や要望活動も連携して取組みたい。

質問 市長提唱の浜田駅と長門市駅間で、観光列車運行構想の動向を問う。

産業経済部長 JR西日本から、当面の運行は困難との回答を受けている。

質問 浜田鉄道部に、簡易なお座敷列車仕様の「石見路」という車両がある。活用し実績をあげ、再要望する考えはないか。

市長 協議してみたい。



JR三江線・宇都井駅(天空の駅)

地域井戸端会に多くの方にご参加いただき ありがとうございました。

| 日 時 | 開催会場 | 参加人数 |
|--------------------------|-------|------|
| 10月13日(火) 19:00～20:30 | 今福公民館 | 27人 |
| | 旭センター | 35人 |
| 10月14日(水) 19:00～20:30 | 弥栄会館 | 24人 |
| | 三隅公民館 | 38人 |
| 10月15日(木) 19:00～20:30 | 周布公民館 | 12人 |
| | 石見公民館 | 18人 |

このたび、今年度第2回目の議会報告会として、地域井戸端会～市民と議員の意見交換～を平成27年10月13日から15日までの3日間、市内6会場で開催しました。

今回はグループに分かれ、テーマに沿って意見交換を行い、意見発表をしました。

各会場で出された意見・要望を議員自身も共通課題とし、今後の議会活動に役立てていきます。

詳細については市議会 HP をご覧ください。

浜田市議会 HP → 議会の取組 → 基本条例の取組 → 議会報告会



今福公民館



旭センター



三隅公民館



弥栄会館



周布公民館



石見公民館

各会場の様子

浜田市議会では、本会議及び委員会、原則公開しています。(議長、委員長の判断により非公開にする場合もあります。)

当日、市役所5階の議会事務局で傍聴人受付簿に住所、氏名を書いていただくだけで傍聴できますので、お気軽にお出かけください。

事前の申し込みは必要ありませんが、団体での傍聴を希望される場合は、席に限りがありますので、浜田市議会事務局まであらかじめご相談ください。

議会傍聴に いらっしやいませんか

| | | |
|--------------------------|---|---------------------|
| 秘書等が代理で出席する場合の結婚祝 | 地域の運動会・スポーツ大会への飲食物等の差入 | お祭りへの寄附・差入 |
| 町内会の集会・旅行等の催物への寸志・飲食物の差入 | みんなで徹底しよう 三ない運動 贈らない 求めない 受け贈らない これらのものも、政治家の贈り禁止の対象となります。 | 落成式・開店祝等の花輪 |
| 病氣見舞 | | お歳暮・お年賀 |
| 入学祝・卒業祝 | 葬儀の花輪・供花 | 秘書等が代理で出席する場合の葬儀の香典 |

選挙の有無に関わらず、議員が選挙区内の人に寄附を行うことは、特定の場を除いて一切禁止されています。有権者が求めてもいけません。(総務省 HP より)

今福小学校5、6年生が本会議を傍聴しました



平成27年12月定例会を今福小学校の5年生と6年生が本会議を傍聴しました。

当日は個人一般質問でしたが、みんな熱心にノートに書き留めていました。

児童の感想文のなかから一部を紹介します。(原文のまま抜粋)

テレビで少し見たことはありましたが、実際に見てみると緊張感がありカチコチになってしまいました。

この市議会のおかげで、公民館やいろいろなところでたくさん行事があることがわかりました。私も、そういう行事に参加していてとても楽しいです。

実際に行って見学するのは初めてでした。第1議題のまちづくりについては、国語で勉強したコミュニティにつながっているなあと思いながら聞いていました。

浜田市議会を見るのは初めてでとても貴重な体験をさせていただきました。会議は皆さんで意見を言い合って、浜田市をもっとよりよい町にするためにいろいろやっておられて、すごいなと思いました。



★この議会だよりは1部あたり42・40円でできています。

あとがき

▲2年の航海を終え議会は寄港地に立ち寄り、船長などの交代と新しい使命と荷物を積み込み出航した。空を見上げ風を読み、潮の流れを見極め新たな航海が始まる▲県下他市の議会は毎議会で一般質問に数名の議員が立つが、浜田市議会は毎回20数名が立つ。質問の多さに加えその中身や事を動かすことができるかが問われる▲24色の絵の具を混ぜると灰色になるとか、24色がその特色と鮮やかさを出し、そして、色を組み合わせ新たな色が出るか、24色でどんな作品に仕上げるか、市民の鑑賞に耐える作品づくりに汗をかきたい。(記 芦谷 英夫)

【編集委員】

芦谷 英夫 委員長
 串崎 利行 副委員長
 足立 豪 委員
 岡野 克俊 委員
 柳楽真智子 委員
 小川 稔宏 委員
 野藤 薫 委員
 飛野 弘二 委員
 平石 誠 委員
 牛尾 昭 委員

【議長なんでもメール】 議長や市議会に関するご意見・ご要望・ご提言などお気軽にお寄せください。
 浜田市議会HP→議長なんでもメール